

活動報告

圏域ケアマネ勉強会を開催しました



いつまでも、自分らしく・いきいきと暮らし続けるためには、インフォーマルサービス活用の視点が不可欠です。そこで「**インフォーマルサービス活用のコツ**」をテーマに、リアルな有益情報を共有するとともに、“ゆる〜く”意見交換。ネットワーク構築、顔の見える関係づくりの大きな一歩にもなりました。

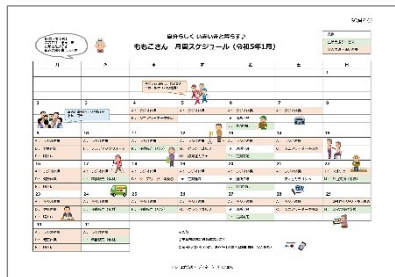


日 時 令和4年12月9日（金）
10:00～12:00
場 所 中央区保健福祉センター15F
ボランティア活動室
参加者 居宅ケアマネジャー、
生活支援サービス提供事業者、
生活支援コーディネーター 計25名
内 容 ①情報提供
②モデル事例紹介
③グループワーク
共 催 千葉市生活支援コーディネーター中央区



■ 情報提供：インフォーマルサービスの現状と課題

生活支援サービスを提供する企業の立場から、現場の実態やインフォーマルサービス活用事例等をご紹介いただきました。情報提供者の親しみやすく軽快な説明に、深くうなずいたり、さらなる疑問が生じたり…。いずれにしても、実り多い時間であったことは間違いありません。



■ モデル事例紹介：自分らしく、いきいきと暮らす ももさんのスケジュール

生活支援コーディネーターより、インフォーマルサービスを中心に様々な活動を組み合わせた月間カレンダーとケアプラン（第3表）をご紹介。ご本人の意思・主体性はもちろん、「活動量の向上、自立支援、生活の質の向上に資するか」はサービス選択時の重要なポイントです。



■ グループワーク：参加者全員で情報・意見交換

インフォーマルサービスの利用や提供に際して、「■■がよかった」「▲▲で困った」「●●だったらいい」等、率直な意見を交換しました。参加された皆様の貴重な生の声には、実務のヒントになる情報・提案が盛りだくさん！当勉強会をきっかけに、新たなコトが見えてきそうです。

発行・連絡先 **千葉市あんしんケアセンター東千葉／千葉市生活支援コーディネーター東千葉圏域**

所在地 〒260-0017 千葉市中央区要町 16-12

電 話 **043-216-2131**（代表） **070-3100-6006**（生活支援コーディネーター・川上）

F A X 043-216-2132

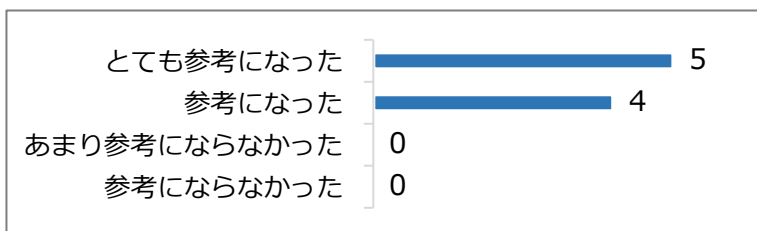
E-mail anshin-higashichiba@iaa.itkeeper.ne.jp（代表）

sc-higashichiba@koutokukai.sakura.ne.jp（生活支援コーディネーター・川上）



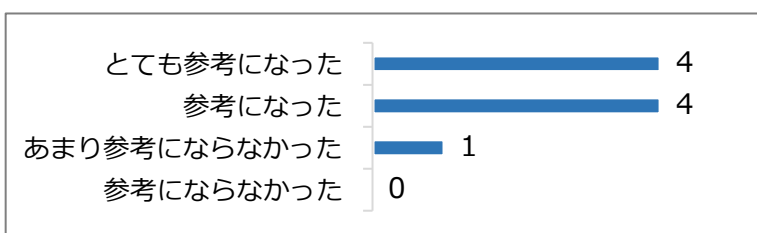
■ 参加者アンケート結果

Q1. 情報提供「インフォーマルサービスの現状と課題」について



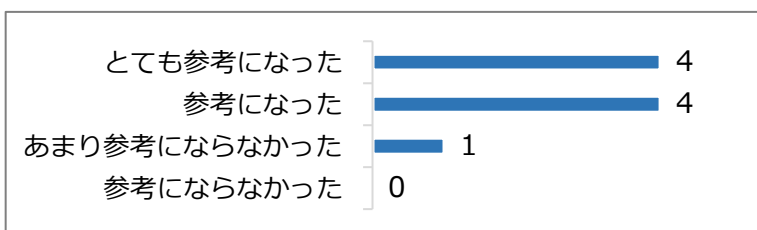
- とても興味深いお話でした。自費サービスの内容だけでなく、地域づくりに関するお話も聞けて、大変勉強になりました。
- 民間事業者が多様なサービスを行っていることに驚いたと同時にとても参考になりました。
- 自費サービスの内容だけでなく、地域づくりに関するお話も大変勉強になりました。

Q.2 モデル事例紹介「自分らしく、いきいきと暮らす ももこさんのスケジュール」について



- 各地域でももこさんの様なモデルケースがあると、今後活用しやすいと感じました。
- ももこさんの毎日の暮らしの様子が分かりやすく、インフォーマルサービスの活用好事例として、イメージしやすかったです。
- 地域資源を取り入れたプランを作成していきたいと思います。

Q.3 意見交換について



- インフォーマルサービスの事例や、利用者の現状を知ることができました。
- 他の事業所の事例が参考になりました。
- 新たな情報を聞くことができて参考になりました。
- 現場の声は大変参考になります。それぞれの専門業種からの声を聞くことは大切だと思いました。

Q4. その他

- 地域資源について相談することで、資源を掘り起こすことができることを知りました。
- とても楽しかったです。ありがとうございました。

皆様、ありがとうございました。
引き続き、よろしくお願いいたします。



この勉強会は、地域ケア会議ならびに第1層・第2層協議体を兼ねて開催いたしました。

